

# 基礎健康管理学Ⅱ

## (授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	石原 昌代
コース	トリミングゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35時間

## もくひょう 目標

### 1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

### 2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、についても理解を深める。

## じゅぎょうけいかく 授業計画

- 1回 授業について エマージェンシーとは
- 2回 状態確認の方法
- 3回 応急処置 出血
- 4回 応急処置 出血
- 5回 応急処置 やけど
- 6回 応急処置 やけど
- 7回 応急処置 熱中症
- 8回 応急処置 熱中症
- 9回 応急処置 ショック
- 10回 応急処置 ショック
- 11回 応急処置 骨折
- 12回 応急処置 骨折
- 13回 実習
- 14回 実習
- 15回 応急処置 眼球突出

16回	前期試験
17回	前期試験返却
18回	応急処置 眼球突出
19回	応急処置 眼球突出
20回	応急処置 けいれん発作
21回	応急処置 けいれん発作
22回	応急処置 感電
23回	応急処置 感電
24回	応急処置 窒息
25回	応急処置 窒息
26回	応急処置 中毒 誤食
27回	応急処置 中毒 誤食
28回	グリーフケア
29回	グリーフケア
30回	老齢動物の飼育管理
31回	老齢動物の飼育管理
32回	安楽死 エンゼルケア
33回	安楽死 エンゼルケア
34回	後期試験
35回	後期試験返却

#### 授業の方法

座学、グループワーク

#### 教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

#### 評価の方法

期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

#### 授業外での学習方法

なし

#### 実務経験と授業科目の関係

動物看護師

# 老齡犬ケア

## (授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	教員	稲岡
コース	トリミングゼミ トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1 学期

老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。

### 2 学期

老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

## 授業計画

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 介護①
- 13回 介護②
- 14回 介護③
- 15回 前期試験
- 16回 前期試験
- 17回 介護④

- 18回 介護⑤
- 19回 介護⑥
- 20回 介護⑦
- 21回 介護⑧
- 22回 介護⑨
- 23回 介護⑩
- 24回 介護まとめ
- 25回 自然医学療法
- 26回 老齢犬のオーナーケア①
- 27回 老齢犬のオーナーケア②
- 28回 老齢犬のオーナーケア③
- 29回 老齢犬のオーナーケア④
- 30回 老齢犬のオーナーケア⑤
- 31回 老齢犬のオーナーケア⑥
- 32回 老齢犬のオーナーケア⑦
- 33回 就職したうえで授業知識の展開
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

# アニマルケア概論

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

か科	生命科学科	きょういん 教員	荻野
コース	トリミングゼミ	きょういん 教員の実務経験	○
たいしやうねんじ 対象年次	2年次	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

## もくひやう 目標

### 1 学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、一人でできるようになる。

### 2 学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できるようになる。

## じゆぎやうけいかく 授業計画

### 1 学期

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」
- 2回 1 動物を飼う 「予防編」
- 3回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」
- 4回 2 ペットとストレス
- 5回 3・4 ストレスの原因
- 6回 5 アロマセラピー
- 7回 6 精油とは
- 8回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 9回 9・10 精油の抽出方法
- 10回 11・12 においと嗅覚
- 11回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 12回 16 アロマセラピーと基材
- 13回

- 14回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 15回 19・20 ペットのアロマセラピー
- 16回 21・22 安全に使用するために
- 17回 ホリスティックマッサージとはテスト
- 18回 ①なでる 手法
- 19回 実技テスト解答
- 20回 ②たたく 手法実技
- 21回 ③引っ張る 手法実技
- 22回 ④揺らす 手法実技
- 23回 ⑤もむ 手法実技
- 24回 ⑥押しまわす 手法実技
- 25回 ⑦手を当てる 手法実技
- 26回 応用編
- 27回 応用編
- 28回 技術確認
- 29回 技術確認
- 30回 実技テスト
- 31回 実技テスト
- 32回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
- 33回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
- 34回 テスト（筆記）
- 35回 テスト（筆記解答）

#### 授業の方法

講義、演習、グループワーク

#### 教材

ノートプリント1～22 マッサージ関連プリント10枚 精油一覧表

#### 評価の方法

期末試験80%、出席率20%

#### 授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないよう行動する

#### 実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

# トリミングゼミ演習

## (授業概要、目的)

犬のグルーミング基礎を強化し、10犬種以上のその犬種にあったカットスタイルを学ぶ。

飼い主様への対応・説明を実際に行い、接客の実践練習を行う。

また周りをみて行動できる、向上心を持ち積極的な人材となる。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×24 コマ

## 目標

### 1 学期

犬種ごとのカットスタイルを理解し、実践できるようになる。

鋏の動かし方を確実に丁寧に行うことができるようになる。

飼い主対応、カットのオーダーの取り方を理解する。

### 2 学期

トリミングマスターライセンス取得に向け時間配分・仕上がりを意識しカットが出来るようにする。

(プードル:ベーシック90分・テディベアカット 100分以内に仕上げ)

一人で接客対応・説明を行えるようになる。

## 授業計画

- 1回 カット講義 (プードルテディベアカット・シュナウザー以外)
- 2回 モデルグルーミング (プードルテディベアカット)
- 3回 モデルグルーミング (シュナウザー)
- 4回 トリミング演習 (チャンパー犬 1人で1頭)
- 5回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 6回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 7回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 8回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 9回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 10回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 11回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 12回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 13回 期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 14回 期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 15回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 16回 トリミング演習 (1~2人で1頭)

- 17回 トリミング演習 (1~2人で1頭)・特別講義 (ハサミについて)
- 18回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 19回 トリミング演習 (1~2人で1頭)・特別講義 (シャンプーについて)
- 20回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 21回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 22回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 23回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 24回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 25回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 26回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 27回 トリミング演習 (トリミングライセンス試験)
- 28回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 29回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 30回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット開始)
- 31回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 32回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 33回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 34回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)
- 35回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・実技実習

きょうざい  
教材

カット資料・グルーミングマニュアル

ひょうか ほうほう  
評価の方法

しまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物人間関係学

## (授業概要)

動物の保護・管理や愛護・福祉、及び環境衛生や野生動物問題などを主体として人間と動物の関係性について公衆衛生の観点から解説する。前半は動物を巡る社会学とも言える内容について、後半は仕事に直結する衛生学的知識または技術について学習する。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

## 目標

### 1 学期

- ・ HAB(Human Animal Bond)に関する内容が中心となる。AAT,AAA,AAE について正しい知識を会得するとともに、基礎的な内容を実践できるようになる。
- ・ ペット・ロスやアニマル・ウェルフェアも動物を巡る社会問題の説明ができるようになる。

### 2 学期

- ・ 環境衛生系問題や種々の野生動物問題など、広く人間社会と自然環境との摩擦に関して基本的知識を得て説明できるようになる。
- ・ 動物を扱うプロとして、特に知っておかねばならない衛生面の知識や技術を習得し、実践できるようになり、即戦力になる。

## 授業計画

- 1回 ヒトと動物の絆
- 2回 AAT と AAA
- 3回 アニマル・セラピーの実際
- 4回 高齢者とペット
- 5回 臨床現場における動物の影響 (1) ①
- 6回 臨床現場における動物の影響 (1) ②
- 7回 臨床現場における動物の影響 (2) ①
- 8回 臨床現場における動物の影響 (2) ②
- 9回 動物介在教育 (AAE)
- 10回 ペット・ロス
- 11回 動物園・水族館
- 12回 産業動物愛界の実態とアニマル・ウェルフェア
- 13回 外来種
- 14回 絶滅危惧種とレッド・リスト
- 15回 前期試験

- 16回 前期試験返却
- 17回 生物多様性の保存
- 18回 鳥獣被害の現状と対策
- 19回 動物検疫 ①
- 20回 動物検疫 ②
- 21回 洗浄・消毒・滅菌
- 22回 消毒薬（1）①
- 23回 消毒薬（1）②
- 24回 消毒薬（2）①
- 25回 消毒薬（2）②
- 26回 感染予防の基礎知識
- 27回 スタッフと動物の消毒
- 28回 仕事環境の衛生
- 29回 イヌ・ネコの健康管理
- 30回 ペットの外部寄生虫疾患（1）
- 31回 ペットの外部寄生虫疾患（2）
- 32回 注意すべき真菌性疾患
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却
- 35回 1年間のまとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

オリジナルのテキストに準じて進めて行く。

きょうざい  
教材

特になし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

関係書籍を読む。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

## 動物関連法規Ⅱ

## (授業概要)

主に飼い主や所有者として知っておくべき動物に関する法律について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	井田 竜馬
コース	トリミングゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35コマ

もくひょう  
目標

## 1 学期

動物の法的立場や飼い主の責任について理解していく。

## 2 学期

マンションにおけるペット問題、動物の譲渡等においてトラブルに巻き込まれないために実例などを元に理解していく。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

- 1回 動物の法的立場 (1) 法律における動物の位置づけ
- 2回 動物の法的立場 (2) 動物に財産を残す場合 その1
- 3回 動物の法的立場 (3) 動物に財産を残す場合 その2
- 4回 動物の法的立場 (4) 保護動物を飼育する場合 その1
- 5回 動物の法的立場 (5) 保護動物を飼育する場合 その2
- 6回 飼い主の法的責任 (1) 民法第718条について その1
- 7回 飼い主の法的責任 (2) 民法第718条について その2
- 8回 飼い主の法的責任 (3) 実例を元に考える その1
- 9回 飼い主の法的責任 (4) 実例を元に考える その2
- 10回 飼い主の法的責任 (5) 実例を元に考える その3
- 11回 マンションにおけるペット問題 (1) 管理規約とは

- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 マンションにおけるペット問題 (2) 使用細則とは
- 15回 マンションにおけるペット問題 (3) ペット可のマンションについて
- 16回 マンションにおけるペット問題 (4) ペット不可のマンションについて
- 17回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (1) 寄託契約その1
- 18回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (2) 寄託契約その2
- 19回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (3) 寄託契約に関する実例
- 20回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (1) 贈与契約その1
- 21回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (2) 贈与契約その2
- 22回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (3) 贈与契約その3
- 23回 身体障害者補助犬法 (1) 法の概要
- 24回 身体障害者補助犬法 (2) 身体障害者補助犬の定義
- 25回 身体障害者補助犬法 (3) アクセスの保証その1
- 26回 身体障害者補助犬法 (4) アクセスの保証その2
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却、解説
- 29回 獣医師法と愛玩動物看護師法 (1) 法の概要
- 30回 獣医師法と愛玩動物看護師法 (2) 診療行為とは何か
- 31回 獣医師法と愛玩動物看護師法 (3) トリマーやトレーナーが行える行為など
- 32回 鳥獣保護法 (1) 身近な動物の規制について その1
- 33回 鳥獣保護法 (2) 身近な動物の規制について その2
- 34回 鳥獣保護法 (2) 身近な動物の規制について その3
- 35回 2年総復習

#### 授業じゅぎょうの方法ほうほう

講義

#### 教材きょうざい

テキスト、自作のプリント

#### 評価ひょうかの方法ほうほう

期末試験きまつしけん 80%、平常点しゅつせきりつ 20% (出席率じゅぎょうたいど、授業態度等)

#### 授業外じゅぎょうがいでの学習方法がくしゅうほうほう

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 卒研演習

## (授業概要、目的)

卒業研究発表の完成度を高めるためにグループワークを交えながら研究の計画立案・実施・整理・資料作成などに取り組む。また、卒業研究の内容及び関連する学生生活の進め方において、適宜面談等を行い問題解決を図る。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35 コマ

## 目標

### 1 学期

卒業研究を進めるにあたり、面談を行いながらグループワークを行いグループ内外での交友関係を築く  
卒業研究の計画案をプレゼンテーションすることができる

### 2 学期

テーマを確定し、それに向けてのデータ収集、資料作成し期限までに完成させる

## 授業計画

1回 自己紹介

2回 自己紹介

3回 面談・グループワーク

4回 面談・グループワーク

5回 面談・グループワーク

6回 面談・グループワーク

7回 面談・グループワーク

8回 面談・グループワーク

9回 面談・グループワーク

10回 面談・グループワーク

11回 プレゼンテーション

12回 プレゼンテーション

13回 プレゼンテーション

14回 プレゼンテーション

15回 プレゼンテーション

16回 データ収集・資料作成

17回 データ収集・資料作成

18回 データ収集・資料作成

19回 データ収集・資料作成

20回 データ収集・資料作成  
21回 データ収集・資料作成  
22回 データ収集・資料作成  
23回 中間発表  
24回 中間発表  
25回 中間発表  
26回 訂正と仕上げ  
27回 訂正と仕上げ  
28回 訂正と仕上げ  
29回 訂正と仕上げ  
30回 訂正と仕上げ  
31回 訂正と仕上げ  
32回 訂正と仕上げ  
33回 発表練習  
34回 発表練習  
35回 発表練習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

グループワーク・プレゼンテーション

きょうざい  
教材

作成資料

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん と じゅぎょうかもく の かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎経営概論

## (授業概要)

経営の全体像や売上の具体的なあげ方等を理解する。また経営や意思決定をおこなっていくうえで、直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。

科	生命科学科	教員	橋本・津田
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1 学期

売上の成り立ちや売上に関わる言葉の意味、売上の具体的なあげ方を理解する。  
人に信頼される接客方法やPOP作成をマスターし、売上向上につなげていく。

### 2 学期

マーケティングを学習し、それらを実践していくうえでの重要ポイントの網羅とそれぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。

## 授業計画

- 1回 経営学で学ぶこと・目的の説明/ペットビジネスとは
- 2回 ペットビジネスの具体的な職業と求められる人材像
- 3回 売上のなりたち
- 4回 売上に関わる言葉（客数）
- 5回 売上に関わる言葉（客単価）
- 6回 売上があがる仕組み/利益を出す仕組み
- 7回 売上を上げるための接客の基本①所作
- 8回 売上を上げるための接客の基本②接客用語
- 9回 売上を上げるための接客の基本③所作と接客用語の実践
- 10回 売上を上げるための接客の基本④言い換え
- 11回 売上を上げるための接客の基本⑤実践
- 12回 売上を上げるための接客の基本⑥実践
- 13回 前期まとめ
- 14回 前期復習
- 15回 前期試験

- 16回 前期試験返却
- 17回 マーケティング（マーケティングの定義・コンセプト・要素）
- 18回 マーケティング（標的市場の設定と接近、顧客を分ける）
- 19回 マーケティング（標的市場の設定と接近、ターゲットと位置付け）
- 20回 マーケティング（製品、定義・概念、分類）
- 21回 マーケティング（製品、製品と経営戦略、PLC、計画的陳腐化）
- 22回 マーケティング（製品、プロダクトミックス、品揃えの意味）
- 23回 マーケティング（製品、ブランドの定義・機能・利点・戦略）
- 24回 マーケティング（製品、サービス、特性・成否をわけるもの）
- 25回 マーケティング（プロモーション、プロモーション戦略体系）
- 26回 マーケティング（プロモーション、広告の定義・意味）
- 27回 マーケティング（プロモーション、媒体戦略と表現戦略）
- 28回 マーケティング（プロモーション、PR、人的販売、販売促進）
- 29回 マーケティング（価格、価格設定のための WHO・WHAT・WHEN）
- 30回 マーケティング（価格、価格計画・価格政策）
- 31回 マーケティング（プレイス、流通チャネルの機能・戦略）
- 32回 後期復習
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却
- 35回 振り返り

#### 授業の方法

講義、グループ活動

#### 教材

なし

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

#### 授業外での学習方法

なし

#### 実務経験と授業科目の関係

あり

## 接客実践

## (授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける
- ・就職したとき、独立したときに戦力になることを目指す。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35 コマ

## 目標

- 1 学期  
基本知識
- 2 学期  
実践

## 授業計画

- 1回 自己紹介①
- 2回 自己紹介②
- 3回 接客とは（人と接するということ）
- 4回 第一印象
- 5回 人の表情
- 6回 色が与える印象
- 7回 接客への不満・言葉使い
- 8回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
- 9回 人の脳と接客の関係
- 10回 後期振り返り・試験前対策
- 11回 前期試験（実施）
- 12回 前期試験（返却・解説）
- 13回 接客の流れ（接客に入る前の準備）・トリマーとしての接客
- 14回 電話での予約受付・電話での案内
- 15回 店内での受付（カウンセリング）
- 16回 販売のコツ・ザイオンズ効果

- 17回 年間行事・効果的なセールの開催法
- 18回 POPとは
- 19回 POP（文字練習）①
- 20回 POP（文字練習）②
- 21回 POP（作成のコツ）
- 22回 商品情報の考察 23回
- 24回 犬の絵・イラスト・スタンダードの作成
- 25回 POP作成①
- 26回 POP作成②
- 27回 効果的なイベント開催法①
- 28回 効果的なイベント開催法②
- 29回 効果的なイベント開催法③
- 30回 経営者の求めるイベント企画
- 31回 後期振り返り・試験前対策
- 32回 後期試験（実施）
- 33回 後期試験（返却・解説）
- 34回 クレーム対応
- 35回 振り返り

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

ペン、プリント、商品見本

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ノート復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 皮膚学

## (授業概要)

動物の皮膚の構造を理解し、犬がなりやすい皮膚病、皮膚病になりやすい犬種、なぜ皮膚病になるか、などを学び理解した上で、皮膚病予防にはどんなフードやシャンプーが効果的かなどを学ぶ。

科	生命科学科	教員	石原
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	35時間

## 目標

### 1学期

動物の皮膚の構造を理解し、皮膚病の原因などを理解する。

### 2学期

犬種別にかかりやすい皮膚病を学び、それに効果的なフードやシャンプーなどを理解する。

## 授業計画

### 前期

- 1回 皮膚の構造
- 2回 皮膚の構造
- 3回 皮膚の働き
- 4回 皮膚の働き
- 5回 人と犬の皮膚の違い
- 6回 人と犬の皮膚の違い
- 7回 犬のなりやすい皮膚病
- 8回 犬のなりやすい皮膚病
- 9回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 10回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 11回 なぜ皮膚病になるか
- 12回 なぜ皮膚病になるか
- 13回 皮膚病になりやすい部位
- 14回 皮膚病になりやすい部位
- 15回 皮膚病に効果的な成分
- 16回 皮膚病に効果的な成分
- 17回 期末試験

- 18回 皮膚病に効果的な食材
- 19回 皮膚に効果的な食材
- 20回 皮膚に効果的な食材
- 21回 皮膚に効果的なドッグフード
- 22回 皮膚に効果的なドッグフード
- 23回 皮膚に効果的なドッグフード
- 24回 皮膚に効果的なシャンプー
- 25回 皮膚に効果的なシャンプー
- 26回 皮膚に効果的なシャンプー
- 27回 トリマーができる皮膚病対策
- 28回 トリマーができる皮膚病対策
- 29回 トリマーができる皮膚病対策
- 30回 トリマーができる皮膚病対策
- 31回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 32回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 33回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 34回 期末試験
- 35回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

資料を使用しての座学

きょうざい  
教材

資料

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり